

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おむすび苑

**目標達成計画書**

作成日: 平成 28 年 2 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが少なくなっているため、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を複数の民生委員や他事業所の管理者、地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの運営や業務改善に取り組んでいく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	地域の行事や活動に、参加が出来ていないので、職員の勤務体制や職員の余裕のある時に、地域に出かけられるように取り組んでいく。	利用者の重度化が進むと、地域の行事に出かけることも困難になってくるので、地域交流室を地域に開放し、各種教室やボランティアの協力等を受けて、地域との関係を確立していく。	12ヶ月
3	42	食事を楽しむことの出来る支援	食事は委託業者による配食で、外部評価でも指摘があり、委託業者と常に話し合い、検食を厳しくして味や彩り、盛り付けや形状に工夫し、利用者が食べたくするような料理を提供していく。	食事は利用者の一番の楽しみであるので、嗜好調査して、好きな料理を利用者と職員と一緒に作り、利用者と職員と一緒にテーブルで食事をとりながら、楽しい食事の時間を過ごし、食欲増進に繋げていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。